

# 海とみどりりと太陽と

藤沢市立高砂小学校



高砂小は  
こいこいできた



●1955年(昭和30年) 富士見ヶ丘より 二本松をのぞむ

## 学 校

何年も何年もかかって みんなをむかえた学校  
たかさんの人が 入学した

けんかをしたり わらったりもした

たかさん たかさん 思い 出作って

みんな 卒業 していく

そんな たかさんの 人の 思い出 が つまった 学校

みんな が 大人 になって

いつか 学校の そばを と おった とき

もう たて な おされて いて

まあ たら しい 学校 には 日 が あた った っ て 光 っ て いる

でも ぼく には 自 分 の 心 に や き つ い て いた

昔 ぼく が 行 っ て た 学 校 が う つ す ら と み え る

(一九九二年 高橋 慎文)



# 高砂小学校の歌

作詞 津田辰雄  
作曲 有海喜巳夫

東の海に朝あけて  
きらめく波よ相模灘  
理想は高く洋々  
明るい希望に胸を張る  
ああ高砂かがやく学園

気高き姿 富士の山  
千代に変わらぬときわ松  
枝を交わして学び舎に  
友と肩くみ語り合う  
ああ高砂ゆかき学園

仰げば空に雲青く  
かがやく頬に風清し  
歌声和して集いする  
良き師よき友いまここに  
ああ高砂うるわし学園



## 新校舎落成によせて

高砂小学校長 横山弘美

高砂小学校は昭和三十九年市内十五番目の学校として開校し、校舎の老朽化にともないこの度全面改築され、本校の卒業生や在校する児童、そして地域の方々が待ち望んでいたすばらしい校舎がついに完成しました。

これまで、本校教育の発展・充実のためご指導・ご支援をくださいました市当局、市教育委員会、地域の方々、保護者の皆様にご礼申し上げます。

本校は、相模湾からの浜風をうけ 富士の雄姿が眺望される学習環境のもと、子どもをのびのびとたくましく育てようと教育活動を展開してまいりました。

校舎改築にあたっては、先輩の先生方の築かれた歴史と伝統を継承しながらこの恵まれた学習環境をより生かしたい、今後二十年・三十年の時の流れに耐えられる施設としたいと構想を練り、外壁のない開かれた学校・地域性あふれるユニークな外観・広いオープンスペースをもつ教室・やわらかい曲線をとりにれた校舎内と市内でも斬新的な施設が出来上がりました。

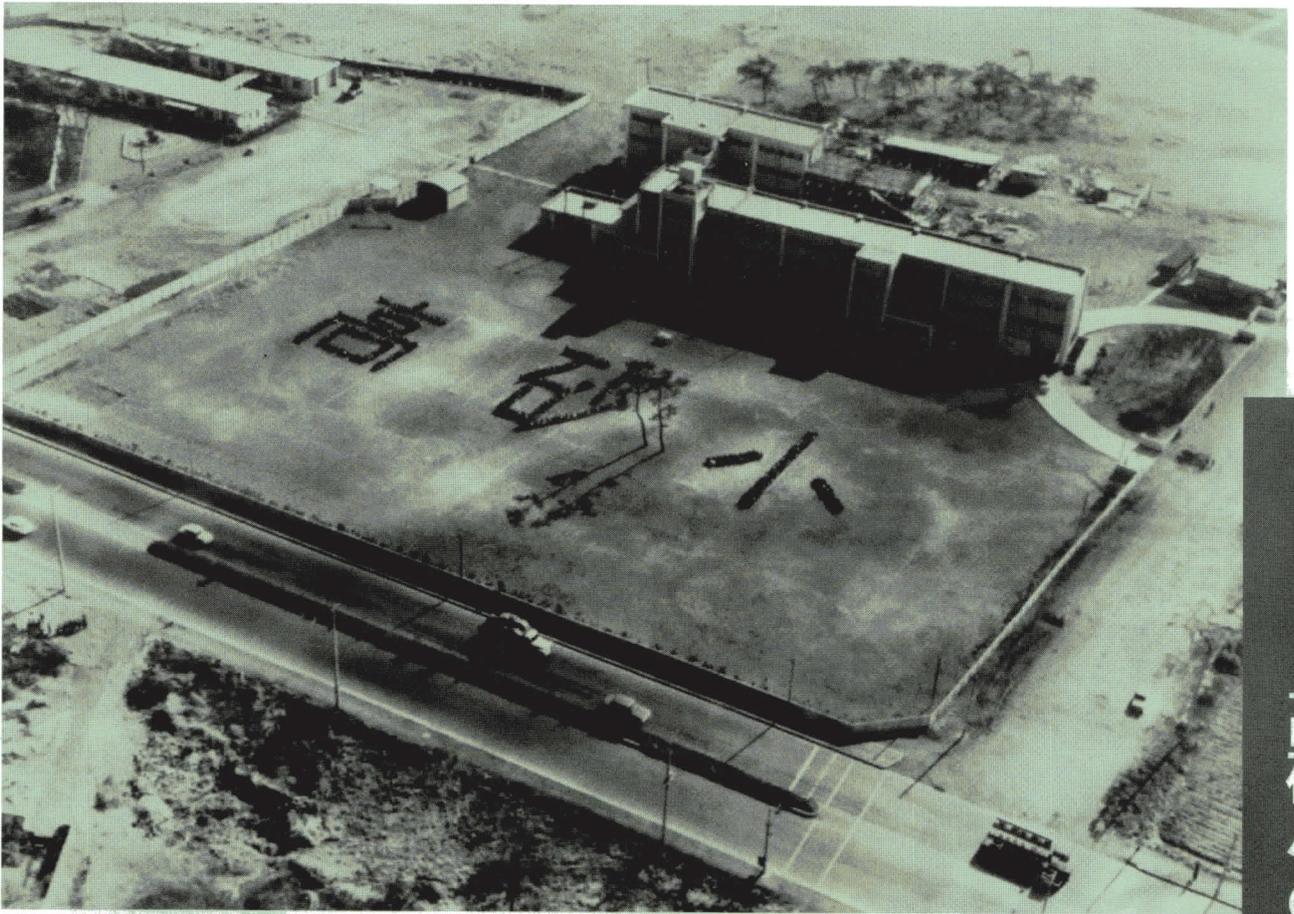
子どもたちをみましても、校舎のあちこちにお気に入りの場所ができ、ゆとりのある生活空間を楽しみながらのびのびと動き回っています。そして、口々に「わたしたちは高砂小学校で勉強できることを誇りに思っています」といっています。うれしいことです。

『はじめに子どもありき』この言葉は、校舎づくりの理念でした。と同時にこれまでの学校イメージを一新した校舎にふさわしい教育内容の実践にもつながるものです。子どもの成長は、子ども自身のもつ伸びたい力によるとの考えにたち、子どもをしつかりとした目で見つめ子どもにそった教育活動を追及していくことがわたしたちの使命と心新たにしております。

そして、この新校舎への移転が今後へ大きく飛躍する節目となるよう努めます。

おわりにこの記念誌発行に際しお力添えくださいましたPTAの方々、この事業にお寄せいただきました多くの方々のご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後一層のお力添えをお願い申し上げます。

# 高砂小のうつりかわり



●1967年(昭和42年)

このあたりにははるかかなたまで風もんがぎざまれた砂丘が続き、その上にはところどころ緑の松が植わっていました。  
この広い砂丘は辻堂団地ができる少し前まで鉄ぼうの練習場として、二二〇年間使われていました。

一九六四 (S39)

四・一 辻堂小学校内に高砂小学校をおく

九・二六 校庭、敷地未完成の中で入校式を行う

強い陽射しの中、出来たての高砂の校旗を持って辻小から分離した生徒の一群は汗をかきつつ高砂のピカピカの校舎へ向かって歩きました。

期待に胸はずませてというより何となくうら寂しく、着いたところは緑一つない不毛の校庭。それもどこから運ばれてきた土なのか、さわるとチクチクして赤くはれるガラスの繊維やさびついた太い針金、とんがったガラスのかげらがあちこちという校庭。

しかし校舎は美しく、木造の辻小を見なれた目に廊下がずっとむこうまで長く続き、不思議な気分でした。(第二回卒業生 石黒さん記)



●1993年(平成5年)

一九六七 (S42) 歩道橋ができる

一九六八 (S43) 体育館ができる

一九七〇 (S45) 浜見小が高砂小から分かれる

一九七一 (S46) プールができる

一九七四 (S49) 高砂小のシンボル 運動場の二本の  
松の木が切られる

四月六日 朝方の強風により二本のうち西側の  
一本が折れる  
残る一本も朽ちて危険なため伐切  
(学校日誌より)

一九九〇 (H2) 給食調理場できる

一九九四 (H6) 新校舎の工事始まる

一九九五 (H7) 旧校舎の解体

新校舎の完成

# あのころの辻堂

(高砂小ができる少し前)



●1960年(昭和35年)頃 旧のぞみ幼稚園から谷村内科小児科医院への道



●1955年(昭和30年)頃 辻堂小学校へ通う子どもたち



●1955年(昭和30年)頃の辻堂駅

●1955年(昭和30年)頃 南町付近から浜見山方向を見わたしたところ



# あのころの砂丘



●現在のオーケストアのあたり



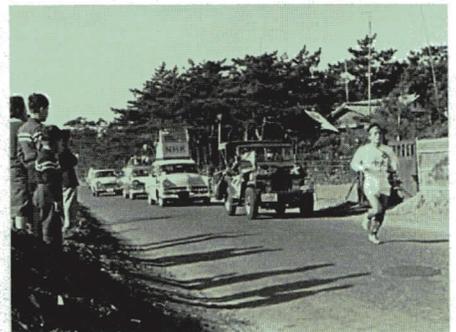
●6街区より



●国道134号線開通（昭和35年11月）



●箱根大学駅伝復路  
（昭和36年1月3日）  
現サンクス  
辻堂団地店前あたり



●現在の浜見小  
高浜中あたり

# 建築始まる

一九六三年（昭和三十八年）

